

一般質問発言通告書

発言順位 10番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 6月 6日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 19番 岡田 美喜子

質問事項 1	小中学校の通学区域について
具体的内容	小中学校の通学区域については、令和元年11月議会において学校の選択制や通学区域の変更等議論させていただき、一定の方向性を求めた。通学区域とは、就学校の指定をする際の判断基準として、教育委員会があらかじめ設定した区域であるが、市民の方からは「なぜ、家から一番近い学校に通えないのか」といったご相談がある。 少子化が進む中、現在の通学区域は現状に合致しているか以下を伺う。
	1 通学区域の基本的な方針について
	2 保護者からの相談状況について
	3 登下校の安全確保について
	4 通学区域の変更や弾力的運用ができないか。
質問事項 2	コミュニティ・スクール推進と教職員の働き方改革について
具体的内容	文部科学省は、令和4年3月にコミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議の最終報告を公表し、教育課程や働き方改革等、学校運営に大きな効果があったとしている。 また、6年ぶりに教員の勤務実態調査を実施し、令和5年4月に公表した。 三島市において、子どもたちのタブレット導入や公務のデジタル化で教職員の働き方は改善されたのか伺う。
	1 コミュニティ・スクールの現状と課題をどのように捉えているか。
	2 コミュニティ・スクールの推進と教職員の働き方改革の関係性について
	3 教職員の働き方改革の成果と今後の取り組みについて
質問事項 3	公共交通の利便性向上に向けた取り組みについて
具体的内容	三島市では、平成30年に「三島市地域公共交通網形成計画」を策定し、将来に渡り持続可能な公共交通網の形成や利用促進策による利用者増加対策を検討してきた。今年度は「地域公共交通計画」を策定し、市民ニーズに対応できる公共交通メニューの充実を図っている。三島市市民意識調査によると、公共交通に対する満足率は年々減少している。また、公共交通空白地帯は徐々に解消されてきたものの、増便を望む声等、要望が多く聞かれる。 高齢者や子育て世代の外出支援、通勤通学等、公共交通の果たす役割は大きく、きめ細かな市民ニーズへの対応が求められる。公共交通の利便性向上について伺う。
	1 地域公共交通の現状と課題について
	2 市民ニーズの把握について
	3 路線バス増便に対する課題について
	4 きたうえ号の路線延長の可能性について